

日本宗教学会
第41回学術大会

期 日 1982年10月1日(金)~3日(日)

場 所 九州大学

日 程

10月1日(金)

| | |
|--------------------------------------|-------------|
| 学会賞選考委員会 (於 法学部会議室) | 12:00~14:00 |
| 公開講演会 (於 法文系大講義室) | 14:00~17:00 |
| 「八幡神と弥勒信仰」 | |
| 中野 幡 能 (別府大学教授) | |
| 「ゾロアスター教におけるダフマ(鳥葬の塔)」 | |
| Dr. フィローズ M. コトワル | |
| (ボンベイ大学教授 ロンドン及びハーバード大学 客員研究員) | |
| 通訳ならびに説明 | |
| 中別府 温 和 (九大文学部助手) | |
| 理事会 (於 工学部教官食堂) | 17:20~20:00 |

10月2日(土)

| | |
|----------------------|-------------|
| 開 会 式 (於 法文系201教室) | 9:00~9:20 |
| 研 究 発 表 | 9:20~12:00 |
| 評 議 員 会 (於 記念講堂小会議室) | 12:00~13:00 |
| 研 究 発 表 | 13:00~15:20 |
| 記念写真撮影 (於 中庭・噴水前) | 15:20~16:00 |
| 総 会 (於 法文系201教室) | 16:00~17:00 |
| 懇 親 会 (於 新三浦) | 18:00~20:00 |

10月3日(日)

| | |
|----------------------|-------------|
| 研 究 発 表 | 9:00~12:00 |
| 編 集 委 員 会 (於 文化史閲覧室) | 12:00~13:00 |
| 研 究 発 表 | 13:00~15:00 |
| シンポジウム (四部会にわかれて) | 15:00~17:30 |
| 閉 会 式 | 17:30 |

第 1 部 会 (201 教 室)

10月2日(土) 午前(9:20~12:00)

- | | |
|-----------------------------------|-------------------|
| 1. 私立大学における宗教教育の現状をめぐって | 寺川 幽 芳 (京 都 女 大) |
| 2. 明治法制史における宗教法<医療妨害・人心感乱>行為対策の変遷 | 武田 道 生 (大 正 大) |
| 3. 宗教的観念とダーウィン型進化論・ホワイトヘッドの所説によせて | 菱木 政 晴 (西 山 短 大) |
| 4. 宗教寛容論の根拠についての一考察——言語のアナロジー | 八 卷 和 彦 (和 歌 山 大) |
| 5. 宗教的言語について | 長 谷 正 当 (京 大) |
| 6. エリアーデの『夏至の夜』の意味するもの | 中 村 恭 子 (川 村 短 大) |
| 7. 大隈重信における宗教と政治のかかわり | 出 口 栄 二 (早 大) |
| 8. 市民宗教と公民宗教——権威とアイデンティティをめぐって—— | 井 門 富 二 夫 (筑 波 大) |

10月2日(土) 午後(13:00~15:20)

- | | |
|--------------------------------------|----------------------------|
| 9. 平和を求める宗教運動 | 石 神 武 信 |
| 10. 初期「無我愛」運動と河上肇 | 三 宅 守 常 (日 大) |
| 11. メンシングにおける「自我」の問題 | 北 川 直 利 (聖 霊 女 大 付 属 高) |
| 12. 「宗教的エートス」について——倫理的エートス論との対論—— | 金 井 新 二 (東 大) |
| 13. 樋口一葉の宗教意識 | 高 木 きよ子 (お茶の水女大) |
| 14. 東西霊性交渉における受容と拒否——禅僧の西欧修道院滞在の成果—— | 安 斎 伸 (上 智 大) |

10月3日(日) 午前(9:00~12:00)

- | | |
|-------------------------------|-------------------|
| 15. 伝道上からみた仏教の安心について | 皆 川 広 義 (駒 大) |
| 16. 「鈴木宗教学」について | 和 田 真 二 |
| 17. 宗教と経済倫理(2)——近江商人の信仰—— | 芹 川 博 通 (淑 徳 短 大) |
| 18. 岸本英夫における心理学的宗教学 | 島 田 裕 巳 (東 大) |
| 19. ハイラーにおける「言葉」について | 入 井 信 明 (大 正 大) |
| 20. ルイス・デ・レオンの宗教的言語論 | 鶴 岡 賀 雄 (東 大) |
| 21. O. グリュントラーの宗教現象学について | 華 園 聰 磨 (島 根 大) |
| 22. 「柱状化」(Pillarization)をめぐって | ヤン・スィンゲドー (南 山 大) |
| 23. 真清居士・鈴木馬左也の禅と人間像 | 松 本 皓 一 (駒 大) |

10月3日(日) 午後(13:00~15:00)

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 24. 宗教研究における現象学的方法の成立と展開 | 塚 本 厚 志 (愛 知 学 院 大) |
| 25. エレウシスの秘儀に見られる靈魂観 | 岡 本 修 (大 正 大) |
| 26. 政教分離の法理と風土 | 日 隈 威 徳 (文 教 大) |
| 27. 信教の自由と政教分離 | 佐 木 秋 夫 (国 民 文 化 会 議) |
| 28. 明治の新仏教と宗教学 | 脇 本 平 也 (駒 大) |

第2部会(202教室)

10月2日(土) 午前(9:20~12:00)

- | | |
|-----------------------------|--------------|
| 1. ルターにおける神の死の系譜 | 倉松 功 (東北学院大) |
| 2. ティリッヒにおける哲学と宗教 | 峰島 旭雄 (早 大) |
| 3. ルネッサンス美術考(1) | 住田 良仁 (東海大) |
| 4. 虚無と悪の問題—有の立場と絶対無の立場において— | 川村 永子 (花園大) |
| 5. シュライエルマッハーにおける宗教と歴史・社会 | 築山 修道 (大谷大) |
| 6. 初期時代のアウグスティヌスの実践生活について | 小阪 康治 (早 大) |
| 7. 平和主義再洗礼派における国家と宗教 | 中野 毅 (創価大) |
| 8. 伝承の受容と教典の形成 | 土屋 博 (北 大) |

10月2日(土) 午後(13:00~15:20)

- | | |
|------------------------------------|---------------|
| 9. エーベリンクの教義学の構成 | 森田 雄三郎 (同志社大) |
| 10. バルトの予定論と歴史哲学 | 大島 末男 (広島工大) |
| 11. クザーヌスにおける<Vis Creativa>について | 酒井 紀幸 (早 大) |
| 12. 人間的時間についての研究序説—波多野『時と永遠』を出発として | 楠本 真三 (玉川学園大) |
| 13. 創造論の展開過程—試論 | 小山 宙丸 (早 大) |
| 14. キェルケゴールの思想の一断片 | 大屋 憲一 (大谷大) |

10月3日(日) 午前(9:00~12:00)

- | | |
|------------------------------------|----------------|
| 15. グリゴリオス・パラマスにおける theōsis について | 清水 澄 (仏教大) |
| 16. 道徳と宗教—ヒュームとカント— | 村野 宣男 (文教大女短大) |
| 17. 聖書の贖罪精神と聖霊融合の接点についての考察 | 木原 範恭 (近畿大) |
| 18. ニコラウス・クザーヌスにおける theos と theōro | 清水 富雄 (愛知県立大) |
| 19. パウル・ティリッヒにおける「理性と啓示」について | 新藤 泰男 (桜美林大) |
| 20. マイスター・エックハルトのマナロギー論 | 田島 照久 (明星大) |
| 21. 「有りて有るもの」—出エジプト記3・14の解釈の試み— | 山我 哲雄 (早 大) |
| 22. M. Luther における罪の性格 | 加藤 智見 (東京工芸大) |
| 23. キェルケゴールにおける「真理」と「伝知」の問題 | 佐藤 幸治 (京 大) |

10月3日(日) 午後(13:00~15:00)

- | | |
|----------------------------------|--------------|
| 24. ヘルダーリンのキリスト像 | 長井 英子 (東 大) |
| 25. 律修教会参事会員運動と隠修制—11・12世紀教会史の一面 | 末永 正道 (九 大) |
| 26. サン=マルタンと「存在の連鎖」—十八世紀神秘思想の一側面 | 今野 喜和人 (東 大) |
| 27. オリゲネスの復活論における魂とからだの問題 | 横山 みや子 (東 大) |
| 28. ニーチェのイエス像 | 浮田 雄一 (大正大) |

第3部会(203教室)

10月2日(土) 午前(9:20~12:00)

- | | |
|-----------------------------------|--------------|
| 1. 後期シェリングについて | 岡村康夫 (舞鶴高専) |
| 2. O. F. ボルノーにおける「感謝」について | 田辺正英 (富山医薬大) |
| 3. シュティルナーの唯一者について | 松塚豊茂 (島根大) |
| 4. 最近のヘクサブラ研究—クインタを中心として— | 伊藤利行 (筑波大) |
| 5. 『宗教論』第四講再考—「Geselligkeit」を中心に— | 長江弘晃 (日大) |
| 6. Individuation と死 | 井桁碧 (南山大) |
| 7. ハイデッガーの思惟の転回について—真理の問題をめぐる— | 平田雅 (大谷大) |
| 8. スピノザにおける人間の不死性 | 笠井貞 (群馬大) |

10月2日(土) 午後(13:00~15:20)

- | | |
|----------------------------------|-------------|
| 9. 「時熱と光」—ハイデッガーの存在と時間をめぐって— | 白木靖晴 (東海大) |
| 10. ポスチュラートと超感性的なもの—『判断力批判』を巡って— | 鈴木元久 (大正大) |
| 11. ヤスパーズにおける愛の思想 | 沼田隆 (愛知教育大) |
| 12. 意志と表象の世界と宗教 | 鑑本光信 |
| 13. ギリシア思想の受容者としてのフィロン—考 | 石川悦久 (早大) |
| 14. フィヒテの言語論 | 大峯顕 (阪大) |

10月3日(日) 午前(9:00~12:00)

- | | |
|-------------------------------------|--------------|
| 15. ベルクソン宗教理論における「神話作用」の考察 | 武田武磨 (大谷大) |
| 16. 死の受容における永遠なるものの機能 | 中野東禪 (曹洞宗教研) |
| 17. ソクラテスの「神」 | 保坂幸博 (東海大) |
| 18. キケロにおける国家と神の問題 | 伊藤益 (筑波大) |
| 19. ホメロスとプラトン—ふるさと帰りのモチーフについて— | 角田幸彦 (明大) |
| 20. ライブニッツ『神義論』の悪について、ドイツ啓蒙思想の展望(1) | 玉井実 (東京工芸大) |
| 21. ルソーのナルシズム | 和田俊昭 |
| 22. ヘーゲル哲学における宗教—美魂の問題の考察 | 中島秀憲 (京大) |
| 23. スピノザの神における非人格性 | 安中隆徳 (早大) |

10月3日(日) 午後(13:00~15:00)

- | | |
|-------------------------|---------------|
| 24. 間の存在論について | 土井道子 (筑波大) |
| 25. 後期田辺哲学の菩薩道的傾向について | 水見潔 (奈良県立大) |
| 26. D. ヒュームの「靈魂不死論」について | 酒井サヤカ (日本歯科大) |
| 27. 初期オルフェウス詩の宗教的位相について | 丸野稔 (早大) |
| 28. 利那主義の問題 | 遠山諦虔 (日本大学) |

第4部会(204教室)

10月2日(土) 午前(9:20~12:00)

- | | |
|----------------------|----------------|
| 1. 浄影寺慧遠の九品往生 | 宇野 禎 敏 (愛知学院大) |
| 2. 源信の浄土念仏について | 福原 隆 善 (仏教大) |
| 3. 法然の救済念仏と根拠 | 新保 哲 (両国高) |
| 4. 三輪流神道の互為灌頂について | 八田 幸 雄 (今宮高) |
| 5. 「観経疏」に於ける九品論に就いて | 正木 晴 彦 (長崎大) |
| 6. 親鸞における仏性の問題 | 田宮 仁 |
| 7. 六十万人頌にみられる一遍の念仏信仰 | 石岡 信 一 (時宗教学研) |
| 8. 一遍聖と結縁衆について | 早坂 博 (東北福祉大) |

10月2日(土) 午後(13:00~15:20)

- | | |
|----------------------------------|-----------------------|
| 9. 『三教指帰』における三教論判の基軸思想 | 品田 聖 宏 (大正大) |
| 10. 親鸞における〈法然〉との出遇い—二つの教言— | 飯山 等 (大谷大) |
| 11. 「教行信証」題号の意味するもの—親鸞の仏教理解の積極性— | 寺川 俊 昭 (大谷大) |
| 12. 浄土教における信について | 気多 雅 子 (南山宗教研 文化研) |
| 13. 証空の深心積 | 廣川 堯 敏 (大正大) |
| 14. 親鸞の信にみられる宗教的基盤理念の構造 | 石田 充 之 (龍谷大) |

10月3日(日) 午前(9:00~12:00)

- | | |
|------------------------------------|-----------------|
| 15. 親鸞における否定的側面と方便 | 田代 俊 幸 (同朋大) |
| 16. 一遍の「再出家」について | 河野 潤 (大正大) |
| 17. 親鸞における自然について(2) | 和田 真 雄 |
| 18. 「山家最略記」をめぐる | 菅原 信 海 (早大) |
| 19. 末法の旨際と宗教的实践 | 秦 治 人 (大谷女大) |
| 20. 成立期のハワイ浄土宗教団 | 鷲見 定 信 (大正大) |
| 21. 歎異抄13とペラギウス論争 | 稲垣 不二磨 (愛知大) |
| 22. 「親鸞一人」について—キルケゴールの「単独者」を顧慮しつつ— | 谷口 龍 男 (早大) |
| 23. 曇鸞浄土論註の宗教的志向 | 橋本 芳 契 (北陸学院短大) |

10月3日(日) 午後(13:00~15:00)

- | | |
|--------------------|---------------|
| 24. 現生不退 | 経 隆 優 (大谷大) |
| 25. 空海のイメージの世界について | 松本 高 志 (東大) |
| 26. 千観の往生思想について | 奈良 弘 元 (日大) |
| 27. 大師信仰組織化の問題 | 後藤 洋 文 (大正大) |
| 28. 日本密教の観法の原点 | 松長 有 慶 (高野山大) |

第 5 部 会 (206 教 室)

10月2日(土) 午前(9:20~12:00)

1. 文殊師利菩薩と金剛曼陀羅
2. 参詣曼荼羅における空間認識の問題
3. 統藏の華嚴注疏よりみたる法藏、慧苑、李通元について
4. 禅の自問自答と露柱
5. 勒那摩提系の習禅者について
6. 中国八關齋会初探(2)
7. 「身心脱落」考—その2—
8. 大明南藏と北藏の諸版

- 横 地 清 恵
 石 倉 孝 祐 (国学院大)
 河 村 孝 照 (東 洋 大)
 小 林 圓 照 (花 園 大)
 吉 田 道 興 (愛知学院大)
 里 道 徳 雄 (東 洋 大)
 佐 藤 悦 成 (愛知学院大)
 長谷部 幽 蹊 (愛知学院大)

10月2日(土) 午後(13:00~15:20)

9. 松源崇嶽の思想について—語録を中心として
10. 臨濟宗法燈派、末寺について
11. 北一輝と法華經思想
12. 梁高僧伝の神仏交渉
13. 根源的經驗の究明
14. 明治仏教を考える

- 長谷川 昌 弘 (愛知学院大)
 岡 本 貞 雄 (大 正 大)
 中 濃 教 篤 (日蓮宗現宗研)
 佐久間 光 昭
 玉 城 康四郎 (日 大)
 古 田 紹 欽 (日 大)

10月3日(日) 午前(9:00~12:00)

15. 近代仏教教団における統合過程の分析的研究
16. 薩摩藩の後期真宗禁止政策
17. 九州信仰梵字文化の研究
18. 江戸時代後期の仏教思想界に現われた印度哲学研究の先駆者たち
19. 仏教社会福祉の一考察—その歴史的展開を中心として
20. 胡適博士による滑臺の無遮大会の年度の決定について
21. 毛坊主と道場—特に近江を中心として—
22. 「江戸仏師系譜」試考
23. 知識人と法華仏教—宮沢賢治の文学と信仰—

- 川 添 崇 (大 正 大)
 星 野 元 貞 (鹿兒島県立短大)
 齊 藤 彦 松 (梵字資料研)
 北 条 賢 三 (大 正 大)
 清 水 海 隆 (立 正 大)
 長 嶋 孝 行 (国会図書館)
 菊 池 武 (大 谷 大)
 江 口 正 尊 (東日本学園大)
 渡 辺 宝 陽 (立 正 大)

10月3日(日) 午後(13:00~15:00)

24. 源翁心昭伝についての一考察
25. 良寛の騰騰任運と道元
26. 公案の解釈と聖俗の理論
27. ヘーゲルと道元の思惟について
28. 律宗の宋朝禅受容について

- 石 川 力 山 (駒 大)
 半 田 栄 一 (中 央 大)
 風 間 敏 夫 (法 政 大)
 岡 島 秀 隆 (愛知学院大)
 中 尾 良 信 (曹洞宗宗学研)

第6部会(207教室)

10月2日(土) 午前(9:20~12:00)

- | | |
|-------------------------------------|--------------|
| 1. 四諦の「集」について | 春田 神 静 (大谷大) |
| 2. 唯識観の形成—言葉の役割をめぐって— | 松下 了 宗 (龍谷大) |
| 3. 断善根と続善根 | 吉元 信 行 (大谷大) |
| 4. 『大乘莊嚴經論』第Ⅶ章「Tattva」考 | 早島 理 (長崎大) |
| 5. パーリ・アビダンマにおける「現在」の概念について | 上杉 宣 明 (大谷大) |
| 6. 巴利仏教の後期アビダルマの哲学的展開—巴利九註を中心として | 勝木 太 一 |
| 7. 順正理論における部派や論師の所説 | 田端 哲 哉 (大谷大) |
| 8. 「十地經」序品における adhisthana (加持) について | 栗山 秀 純 (大正大) |

10月2日(土) 午後(13:00~15:20)

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 9. 世親と衆賢の無表業理解 | 工藤 道 由 (駒 大) |
| 10. 「正法念処經」の所屬について | 川村 昭 光 |
| 11. スリランカ仏教にみられる聖・俗的要素 | 神谷 信 明 (岐阜市立 女短大) |
| 12. 世親撰論の量義について | 上田 晃 圓 (龍谷大) |
| 13. ウパニシャッド文字と伝道 | 山口 恵 照 (阪 大) |

10月3日(日) 午前(9:00~12:00)

- | | |
|-------------------------------------|----------------|
| 14. 解深密經第一章と菩薩地 | 阿 理 性 (九 大) |
| 15. 阿毘曇心論について | 智谷 公 和 (大谷大) |
| 16. マハーパーラタにおけるクリシュナとカルキについて | 西尾 秀 生 (立命館大) |
| 17. シャーンタラクシタの聖教量批判 | 島 義 徳 (帝塚山学院大) |
| 18. Hevajra 系儀軌にみる astasmasana | 島田 茂 樹 (東洋大) |
| 19. ダルマキールティの因果論 | 桂 紹 隆 (広島大) |
| 20. インド神秘思想における一如について | 日野 紹 運 (学術振興会) |
| 21. オーロピンドの宗教思想の一考察 (integral について) | 吉田 敦 彦 (関西大) |
| 22. ツオンカバの「諦教」について | 小川 一 乗 (大谷大) |

10月3日(日) 午後(13:00~15:00)

- | | |
|-----------------------------------|----------------------|
| 23. 古代北インドの仏教儀礼 | 松村 恒 (四天王寺 国際仏教大) |
| 24. ビルマ上座部宗派合同会議 | 生野 善 応 (亜細亜大) |
| 25. 印度における僧院と教育について—ナーランダ僧院を中心として | 管井 大 果 (八代学院大) |
| 26. 舍利弗阿毘曇論の修行道論について | 田中 教 照 (武蔵野女大) |
| 27. 仏教文学と口語伝承 | 高橋 壮 (名城大) |

第 7 部 会 (301 教 室)

10月2日(土) 午前(9:20~12:00)

- | | |
|---------------------------------|---------------|
| 1. 「もり供養」における教義的側面 | 鈴木岩弓 (島根大) |
| 2. 平田篤胤における他界観の形成 | 栗田英二 (九大) |
| 3. 墓と穢と | 大垣豊隆 (神官研修所) |
| 4. 祭における構成の変化 | 宇野正人 (国学院大) |
| 5. 山崎闇斎と林羅山—闇斎における神道志向の問題をめぐって— | 安蘇谷正彦 (国学院大) |
| 6. 稲荷信仰の習合事例 | 高橋 渉 (宮城学院女大) |
| 7. 古事記の成立 | 鎌田純一 (皇学館大) |
| 8. 火継ぎ神事の研究史 | 平井直房 (国学院大) |

10月2日(土) 午後(13:00~15:20)

- | | |
|-------------------------|--------------|
| 9. 内棲型新興教国成立の過程と条件 | 西山 茂 (東洋大) |
| 10. 近世における大和陰陽師 | 木場明志 (大谷大) |
| 11. 初期霊友会の思想基盤について | 梅津礼司 (中央学術研) |
| 12. 出口王仁三郎の言霊論—言霊宇宙論の完成 | 鎌田東二 (国学院大) |
| 13. 世襲布教師と霊能布教師 | 井上順孝 (国学院大) |
| 14. 宗教的体験の分析的研究 | 竹中信常 (大正大) |

10月3日(日) 午前(9:00~12:00)

- | | |
|--------------------------------|-----------------|
| 15. 対馬の亀ト | 椿 実 (竹早高) |
| 16. <逆修>考 | 池見澄隆 (仏教大) |
| 17. 善光寺縁起の解釈について | 山ノ井大治 (大正大) |
| 18. 宗教と空間—M, アルバクスの集合記憶論 | 関 一敏 (筑波大) |
| 19. 「脱呪術化」(M. ウェーバー)概念の宗教史的再検討 | 月本昭男 (立教大) |
| 20. R. N. ベラーと「市民宗教」 | 榊原 健 (I. C. U.) |
| 21. <死>をめぐる宗教社会学 | 藤井正雄 (大正大) |
| 22. 地藏菩薩の変貌—その生成と変容について— | 中村康隆 (大正大) |
| 23. 墨家における鬼神観 | 栗原圭介 (大東文化大) |

10月3日(日) 午後(13:00~15:00)

- | | |
|----------------------------------|---------------|
| 24. ウィリアム・ジェームズのセルフの問題と異言並びに創唱神話 | 田中 実 (御影高) |
| 25. Great Mother と(水辺の母子)物語について | 高田篤子 (九大) |
| 26. 幻影の未来—フロイトと宗教 | 湯田 豊 (神奈川大) |
| 27. 近代日本における宗教神秘主義の一形態・友清歎真について | 家塚高志 (東京工業高専) |
| 28. 夢のなかの翁 | 山折哲雄 (歴民博) |

第 8 部会 (302 教室)

10月2日(土) 午前(9:20~12:00)

- | | |
|-----------------------------------|-----------------|
| 1. 日蓮における 経済的側面の研究—〈勸進聖〉的性格について | 大久保 雅 行 (九 大) |
| 2. ソロアスター教における聖なる火—ナオサリの事例を中心として— | 中別府 温 和 (九 大) |
| 3. 仏教東漸の系譜—南米と北米における禅仏教の進展 | 小笠原 隆 元 (駒 大) |
| 4. 北設楽の花祭にみる方位の問題 | 春日井 真 英 (名 城 大) |
| 5. 成巫過程と宗教・文化的背景—宮城県中央部の事例を中心として | 川 村 邦 光 (東 北 大) |
| 6. 出雲・中国山地の龍蛇と神楽と託宣 | 野 村 暢 清 (九 大) |
| 7. 中部ヨーロッパにおける冬送りの習俗とユダの問題について | 植 田 重 雄 (早 大) |
| 8. 儀礼研究の二方向 | 柳 川 啓 一 (東 大) |

10月2日(土) 午後(13:00~15:20)

- | | |
|---------------------------------|-----------------|
| 9. 韓国の巫歌を通してみた巫祭の性格について | 丹 羽 泉 (九 大) |
| 10. 村落社会における宗教変容—三重県度会町の宗教調査より— | 八 幡 崇 経 (愛知学院大) |
| 11. 神社合併の一側面—三重県度会町の宗教調査より | 桜 井 治 男 (皇学館大) |
| 12. 明治維新における新後生の運動 | 古 賀 和 則 (文 化 庁) |
| 13. 日蓮における宗教的象徴と鎌倉後期武家社会 | 笠 井 正 弘 (西日本短大) |
| 14. ハッタライトの社会化について | 坂 井 信 生 (九 大) |

10月3日(日) 午前(9:00~12:00)

- | | |
|------------------------------------|------------------|
| 15. 沖縄社会におけるユダの位置—門中組織との関わりにおいて | 安 達 義 弘 (九 大) |
| 16. 雲仙修験とキリシタンの伝来 | 根 井 净 (大 谷 大) |
| 17. ランターズ運動における浮かれ騒ぎ—その行動の具体的事例と意味 | 木 田 理 文 (慶 大) |
| 18. アメリカ社会における日系新宗教の変容—日米解脱会を比較して— | 石 井 研 士 (東 大) |
| 19. 解脱会の宗教的宇宙観 | 河 東 仁 (東 大) |
| 20. 教祖誕生—解脱会の場合— | 藤 井 健 志 (東 大) |
| 21. 岡山県奈義町の風土と雨乞習俗 | 中 牧 弘 允 (民 博) |
| 22. 聖地の構造—コプト修道院のフィールド・ノートから | 山 形 孝 夫 (宮城学院女大) |
| 23. 筑波の犬供養と流れ灌頂 | 小 野 泰 博 (図書館情報大) |

10月3日(日) 午後(13:00~15:00)

- | | |
|-----------------------------|-----------------|
| 24. 「放生会」について | 山 本 春 樹 (天 理 大) |
| 25. 台湾の民衆宗教・一貫道について | 篠 原 壽 雄 (駒 大) |
| 26. 「差別事象」接近への宗教学的的可能性をめぐって | 江 島 修 作 (広島修道大) |
| 27. 母系宗教の理念について | 大 越 愛 子 (京 産 大) |
| 28. 山口県の盲僧教団の研究 | 伊 藤 芳 枝 (山口女大) |
| 29. 沖縄・奄美の石敢当続考 | 窪 徳 忠 (鶴 見 大) |

〔シンポジウム〕 10月3日(日) 午後(13:00~18:00)

第1部会「死の問題」 201教室

| | |
|------|-------------|
| 死の問題 | 武内義範(愛知学院大) |
| 死の問題 | 中川秀恭(I C U) |
| 死の問題 | 早島鏡正(東大) |
| 死の問題 | 藺田稔(国学院大) |
| 死の問題 | 田丸徳善(東大) |

第2部会「原始仏教とジャイナ教」202教室

| | |
|-------------------|----------------------|
| 原始仏教とジャイナ教 | 前田恵学(愛知学院大) |
| 仏教・ジャイナ教発生基盤とその形成 | 塚本啓祥(東北大) |
| 「原始ジャイナ教の認識論」 | 宇野惇(広島大) |
| 原始仏教とジャイナ教 | 奥田清明(四天王寺) 国際仏教大) |

第3部会「新宗教における歴史把握」 301教室

| | |
|--------------------|--------------|
| 如来教と天理教 | 村上重良(慶大) |
| 谷口正治と内村鑑三におけるメシア待望 | 小野泰博(図書館情報大) |
| 新宗教における歴史像 | 池田昭(和歌山大) |
| 新宗教における救済史神話と終末主義 | 島藺進(東京外国語大) |
| 日蓮系諸教団における歴史把握 | 笠井正弘(西日本短大) |

第4部会「カトシズムと土着文化」 302教室

| | |
|---------------------------|-----------|
| 宗教の残存性と深層性をめぐって | 野村暢清(九大) |
| 聖マルチンの祭とゲルマンの習俗 | 植田重雄(早大) |
| 南島におけるカトリック教の受容と変容 | 安斎伸(上智大) |
| ユダヤ・キリスト教とヘレニスト・キリスト教との対立 | 青山玄(南山大) |
| グアダルーペの聖母崇敬 | 藤田富雄(立教大) |